

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名 レッドデータブック改訂調査費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境エネルギー生活部 環境生活政策課 生物多様性係 電話番号：058-272-1111(内2923)

E-mail：c11260@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,407 千円 (前年度予算額： 4,407 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|-------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 4,407 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,407 |
| 要求額 | 4,407 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,407 |
| 決定額 | | | | | | | | | |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

レッドデータブックは多くの公共事業における環境影響評価の指標であり、データの改訂作業は、自然環境の変化を的確に反映させるために改訂し、的確な保護施策を実施することが望ましい。次期改訂に向けた現地調査や文献調査等を継続的に実施して行く必要がある。

(2) 事業内容

平成13年度に県が発刊した「岐阜県レッドデータブック(動物編・植物編)」について、自然環境の変化に応じて最新の知見を反映させた改訂版を策定する。平成18～25年度に一次改訂を終了したため、平成26年度、二次改訂に向けて、岐阜県レッドデータブック改訂調査検討委員会を設置した。

今後は、各部会における現地・文献調査の結果から、候補種ごとにカテゴリー判定を行い、委員会の審査を経て、レッドリスト及びレッドデータブックを改訂する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県の環境保全事業の基礎資料となるため、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|---------|-------|-------------------|
| 報償費 | 336 | 委員会・専門部会開催にかかる報償費 |
| 旅費 | 132 | 委員等費用弁償、打合せ等 |
| 需用費 | 56 | 消耗品 |
| 委託料 | 3,880 | 専門部会等への文献・現地調査委託 |
| 使用料・賃借料 | 3 | 会議室使用料 |
| 合計 | 4,407 | |

決定額の考え方

4 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

第7次岐阜県環境基本計画 基本施策3（3）○生物多様性の保全
生物多様性ぎふ戦略 3－1. 生物多様性に関する普及啓発

（２）後年度の財政負担

平成13年度の初版の発刊以降、約10年が経過した時点の一次改訂により、初版に比べ生息情報等の集積が進んだこと等により掲載種が増加し、動物編では119種増加した330種、植物編では364種増加した554種となった。県の希少種保護事業の推進のため、引き続き改訂に向けて事業を継続する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県に生息する野生生物の現状について、生息状況の調査を行い、絶滅のおそれのある野生生物種を選定・評価することにより、地域の自然特性を明らかにし、保護と開発のバランスのとれた公共事業等の計画策定や的確な保護施策の実施を促進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R) | R6年度 実績 | R7年度 目標 | R8年度 目標 | 終期目標 (R) | 達成率 |
|-----|---------------|------------|------------|------------|--------------|-----|
| ① | | | | | | |
| ② | | | | | | |

○指標を設定することができない場合の理由

レッドデータブックの調査研究の過程では、定量的な計測ができないため

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|-------|---|
| 令和4年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・動物編については、リストの公表に向けて精査を実施。 ・植物編については、対象種が膨大なため、基礎資料作成、絶滅危惧Ⅰ類・Ⅱ類・準絶滅危惧等の評価検討を継続中。 |
| 令和5年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・動物編については、引き続き精査を実施しながら、追加種の基礎資料作成、絶滅危惧Ⅰ類・Ⅱ類・準絶滅危惧等の評価検討を実施。 ・植物編については、対象種が膨大なため、引き続き基礎資料作成、絶滅危惧Ⅰ類・Ⅱ類・準絶滅危惧等の評価検討を継続中。 |
| 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・動物編については、引き続き精査を実施しながら、追加種の基礎資料作成、絶滅危惧Ⅰ類・Ⅱ類・準絶滅危惧等の評価検討を実施。 ・植物編については、対象種が膨大なため、引き続き基礎資料作成、絶滅危惧Ⅰ類・Ⅱ類・準絶滅危惧等の評価検討を継続中。 |

